謹賀新年 2010

鶴岡八幡宮
宮司　吉田茂穂

鎌倉宮
宮司　船橋信彌

鎌倉大佛殿 高徳院
浄土宗大本山　光明寺
住職　佐藤孝雄

源頼朝会
会長　小池時一
会計担当　斉藤勇

社団法人 大日本弓馬会
会長　崎濱弘泰

社団法人 神奈川県建築士事務所協会 鎌倉支部
支部長　福田亮一
副支部長　近藤侊三
副支部長　梅沢典雄

鎌倉遺園界
会長　川尻祐治
副会長　梅沢保雄
副会長　松村邦男

神奈川県飲食業生活衛生同業組合鎌倉支部
会長　座間栄治
支部長　山田政晴

鎌倉酒類開発協議会
会長　長嶋幸男

鎌倉寅年年表
昭和13年（1938）～平成10年（1998）
（作成　清田昌弘）

独伊親善団訪日

●昭和13年（1938）戊寅

3月27日　訪日イタリア使節団として、黒シャツ姿のファシスト党員が鎌倉を訪問、大歓迎を受ける。

5月　若宮大路、一ノ鳥居付近の道路工事中、叺10杯ほどの枯骨が出た。翌月、材木座の九品寺に埋葬。

8月4日　鎌倉で初めて灯火管制が行われ、戦時体制の強化が始まった。

8月7日　八幡宮の夏越祭が始まる。名士が雪洞を奉納する。

8月13日　鎌倉町立実科女学校の生徒3名、海岸で水泳練習中に溺死。

9月10日　作家久米正雄が従軍記者として出発、八幡宮座田宮司ら見送る。

9月22日　日独青少年交歓でヒトラー・ユーゲントが鎌倉を訪問、鎌倉青年団、師範学校、女学校、赤十字少年団ら2千人が出迎える。

東慶寺で美容教室

●昭和25年（1950）庚寅

3月20日　映画館「鎌倉市民座」が若宮大路沿いに落成した。横浜の貿易博覧会で使用されたかまぼこ型建築物を移築したもので、久米正雄が27年に亡くなったときには、ここで市民葬が行われた。

5月3日　鎌倉大仏（高徳院）が文化財保護法で重要文化財に指定される。

7月21日　美容夏期大学が東慶寺で開校（～25日）早見美容学校の教師による実技指導など。

9月　昭和21年4月に開校した鎌倉アカデミアが経営不能に陥って閉校した。

11月3日　鎌倉在住の大佛次郎（芸術院賞、永井龍男（横光利一賞）、大岡昇平（同上）の文学賞受賞者合同祝賀会が市主催により市民会館で行われた。講演小林秀雄「朗読小夜福子、記念品贈呈淡島千景、水原真知子という豪華な顔ぶれだった。

12月25日　八幡宮境内で県立近代美術館の起工祭が行われた。設計坂倉準三。

帰源院に漱石句碑

●昭和37年（1962）壬寅

2月26日　夜、若宮大路沿いの市庁舎から出火、モルタル2階建て、延べ800平方㍍が全焼。数㍍で隣接する鎌倉電話局は防火シャッターが火勢を防ぎ、交換手は職場を守ってすべての電話を取り次いだ。

3月21日　腰越小動神社の食庫が全焼、保管してあった夏祭用の山車5台と人形9体を焼失。

3月　学校の給食費が百円の値上げで月額5百円に。50～100カロリー増。

12月9日　鎌倉漱石の会が円覚寺塔頭、帰源院境内に漱石句碑「仏性は白き桔梗にこそあらめ」を建立。

この年、女優原節子（本名会田昌江）は「忠臣蔵」出演を最後に引退。当時浄明寺地区に居住。

市営公益質屋廃止

●昭和49年（1974）甲寅

1月1日　大晦の夜から三ケ日の間、鎌倉駅から八幡宮周辺にかけ初めての歩行者天国が実現した。

3月30日　小町の公営質屋が利用者減少で廃止。22年発足時は1世帯5万円まで、利子月3%、期限4ケ月、質草は流さず、年間千件の利用があった。

4月17日　市に寄贈された故吉屋信子邸が吉屋信子記念館（館長吉屋千代）として開館、一般公開された。

8月4日　鎌倉市の一般事務職第一次試験（大・短大卒）は競争倍率36倍、うち地元の応募者は20%。

11月23日　勤労感謝の日の市技能功労者表彰式で、腰越の宮大工、松井軍司、角三（6代目）、四郎の3兄弟が揃って表彰された。

割箸で建てた門

●昭和61年（1986）丙寅

2月　全国一高額の退職金と云われ批判の的となった鎌倉市は「広報」で実態を公表、「勧奨」で（優遇）退職者53名中の最高額は5778万円（平均3026万円）であった。

6月15日　山ノ内の鎌倉学園中・高の学園祭で、80人の実行委員が市内の飲食店から集めた使い捨ての割箸60万本を、3週間かけて高さ5㍍、最大幅6・3㍍の「守礼の門」（沖縄）に作り上げた。

東勝寺跡が史跡に

●平成10年（1998）戊寅

3月　1月1日現在の公示地価が発表され、住宅地の1位は小町1―11―13で1平方㍍当り39万2千円、商業地は大船1―25―39、1平方㍍当り160万円。

4月21日　文化財保護審議会は、鎌倉幕府滅亡の地として知られる「東勝寺跡」を史跡に指定するよう答申した。

鎌倉朝日歌壇

玉井　慶子　選

失敗の一を消したいばっかりに十も五もため息をつく　保土ケ谷区　木村　俊介

立ち止まる時に後ろを返りつつ青い時代の歩みをつなぐ―という一首もある。時間のたっぷりある青年ならではの歌。

岩肌を伝いて落つる若水を集めて墨研ぐ元朝の筆　台　魚住　藤明

新年の慣例として若水があった。元日早朝湧き水は意外な程温かだったものである。

茶釜から直立つ湯気のゆらめきて照の葉をしばし隠し遊べる　笛田　入野　裕江

手に余るずっしり重き澁柿を剥ぐ晩秋の午後の明るさ　七里ガ浜　及川　泰子

天満宮の鳥居をくぐり燈籠の並み立つ段に疲れを癒す　大船　重岡　穂子

良きことのあり日ならんド校する児のスキップの弾みてかろし　寺分　池田　達郎

阿仏尼の残せる訴状のあるときく浄光明寺に十六夜仰ぐ　手広　本田　信子

みすずかる奥信濃より届きたるナンフジりんごのつやかさかな　逗子市山の根　湊　美根子

緑よりやがて黄を急ぐ統一の神のみ技が天然のちからかからまりし薯の実そっと取り集めむかご・御飯・は森の匂ひす　保土ケ谷区　長谷川　静枝

佐助　櫻庭十一柴子

鎌倉朝日俳壇

志摩　知子　選

幸せな思い出積みて年が行く　大町　貝山　正子

今年もまた終世に近い。中七の把握が前向きでいい。

余命得て厨に佇つや水の秋　本鵠沼　宗　とし尾

病癒えて厨に立てることの実感。水の秋が効果的。

ときめきの色はルビー石榴の実　藤沢　槙野あさ子

石榴実をルビーと表現。若々しい勢ある句。

目瞑れば屈背の姑を夜半の冬　津　細田　俊

背の丸くなった姑をふっと思う。冬の夜母への懐想。

職歴の余白焚火の果てし園　常盤　片岡　和子

リタイアしたあとの淋しさと焚火の後の園を結んだ。

金色の時閉ぢ込めて大公孫樹　材木座　後藤　秀彦

日に映えた大公孫樹の黄葉。中七の表現が上乗。

二胡の音が吸ひ込まれゆく寺の秋　大船　玉井　直子

過日東慶寺で行われた二胡の会か。静けさが際立つ。

兄と酌みもつてのほかに母思ふ　寺分　池田　達郎

「もってのほかは食用菊。兄と酌みつつ母を偲ぶ。

坂道を枯葉踏つて廓けてゆく　腰越　大川　昭子

筆先をひたと若水研ぎにけり　台　東　五月

濡れそぼつ庫裏の細道秋時雨　腰越　近藤　源司

日の当る席めづられて神の旅　鵠沼　一色千穂子

赤き実の多き小路や十二月　腰越　佐々木和子

新築の木槌ひびき冬日和　腰越　小河　哲美

亡き人にメールうちたり冬銀河　片瀬　伊東　清

鎌倉朝日 発刊協力グループ 朝日新聞専売所

ASA鎌倉小町販売 小町一―五―二 ☎22―3236
ASA鎌倉中部 長谷一―一―九 ☎22―1004
ASA鎌倉東部 二階堂一―七 ☎25―2185
ASA北鎌倉 山ノ内七四八 ☎45―4509
ASA鎌倉西部 手広三―二―四〇 ☎32―2022
ASA鎌倉深沢 常盤一四七―二 ☎31―1444
ASA腰越 津西一―一―一八 ☎31―6518
ASA大船西部 玉縄一―一四―一 ☎46―6068
ASA大船南部 岩瀬五―八―五 ☎43―1666
ASA大船中央 大船一―三―一一 ☎46―4544
ASA片瀬 藤沢市片瀬三―八―二〇 ☎0466―26―5369
ASA藤沢南部 藤沢市鵠沼藤が谷二―一―二二 ☎0466―27―8716
ASA藤沢東部 藤沢市弥勒寺二―二二―一一 ☎0466―22―7409
ASA鵠沼東部 藤沢市鵠沼海岸二―一―一一 ☎0466―34―6924
ASA鵠沼西部 藤沢市鵠沼桜が岡三―六―一八 ☎0466―25―7110
ASA東逗子 逗子市沼間一―四―四 ☎0046―871―6845
ASA葉山 三浦郡葉山町堀内一八〇八 ☎0046―875―0515
ASA逗子 逗子市久木一―一―一一 ☎0046―871―2368
ASA金沢八景 横浜市金沢区六浦一―二―一三 ☎045―782―2859
ASA大船北部 横浜市栄区笠間四―一―九 ☎045―891―0986